

CRH1-BEV1形 日新/高速度地絡回線選択継電器

本器は、主として抵抗接地系送電線の地絡保護に使用される地絡回線選択継電器で、電圧抑制効果を加味したコンダクタンス形の継電器です。従来の継電器は、零相電圧と零相電流の積に比例した動作力を生じるものであったため、地絡抵抗を伴う故障時の感度が著しく低下するという欠点はまぬがれませんでした。本器は、このような地絡抵抗が大きい初期の地絡故障に対しても、十分な感度を有する高速度形の地絡継電器です。

■定格仕様

定格電圧	110V 連続, または190V 10分(端子1-2間)
定格電流	2A 連続(端子9-10間)
定格周波数	50Hz または60Hz
最大感度位相角	電流進み0°
電流整定範囲	0.25-0.35-0.5 -0.7-1-1.4-2.0A
接点構成	2a(端子5-4, 5-7間)
接点容量	通電瞬時 10A (D.C. 110Vにて) 開閉容量 0.3A (D.C. 110Vにて)
表示付補助接触子	D.C. 1, 2A 動作
消費VA	電圧 110Vにて, 50Hz 30VA 60Hz 25VA 電流 0.2A 整定0.2Aにて50Hz 0.1VA 60Hz 0.1VA

■構造

主要素

本器は、上下2段に単独の同一要素を備え、その電流回路を逆極性に接続し、電流方向によってそのいずれかの要素を動作させるもので、駆動要素は高速度動作に適するよう、4極誘導円筒形の構造となっています。

動作電流の整定は電流コイルにタップを設け、タップの切換えにより行います。

本器は電圧抑制付ですので、定格電圧の30~100%までの間、電流感度がほぼ一定となっており、さらに方向判定は確実です。

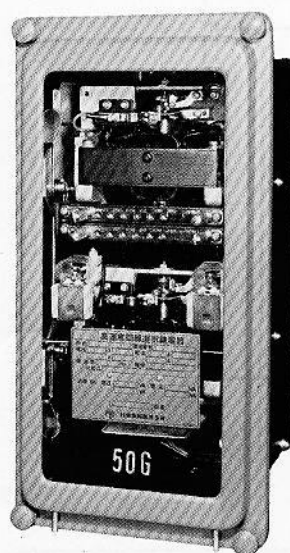


図1 CRH1-BEV1形
高速度地絡回線
選択継電器

■接点と補助接触子

主接点は良質の銀で作られています。特に固定接触子は、特殊な2枚の支持片に支えられているため、過大なトルクが作用しても可動部が反跳することなく、完全な接触が得られます。

また表示器をかねた補助接触子を備えており、主接点が閉路するとその電流容量を増すため、遮断器引きはずし電流により、ただちに動作し主接点を保護します。

継電器が動作した場合には、補助接触子の小窓に橙色の表示片が表われるようになってきます。表示片は主接点が閉じるとただちに落下しますが、遮断器の引きはずしが完了しても、表示片は残ったままで、カバー外部の復帰用のレバーを押し上げることによって復帰させることができます。

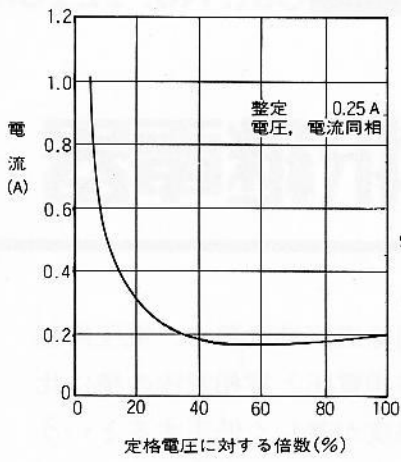


図2 電圧・電流特性

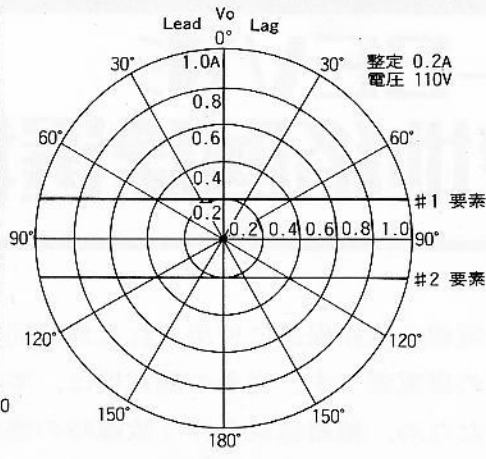


図3 位相特性

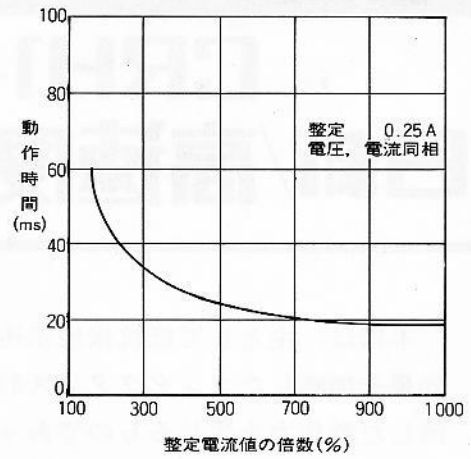


図4 動作時間特性

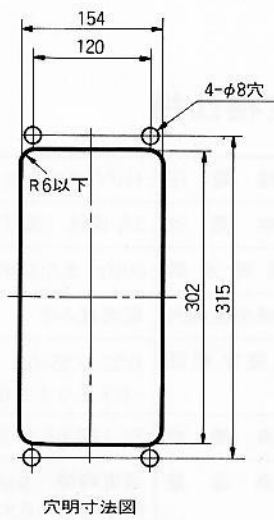
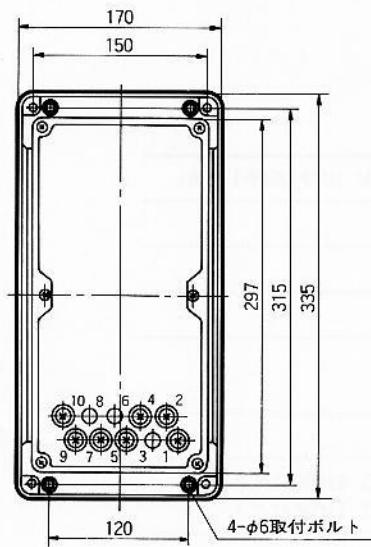
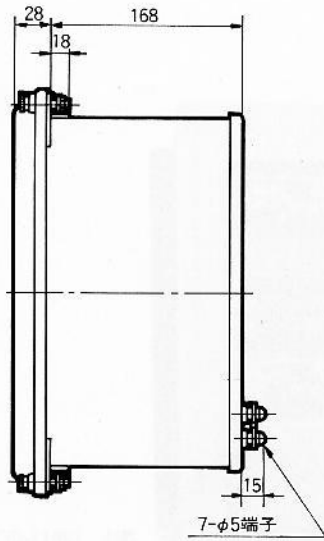


図5 外形寸法図および穴明寸法図

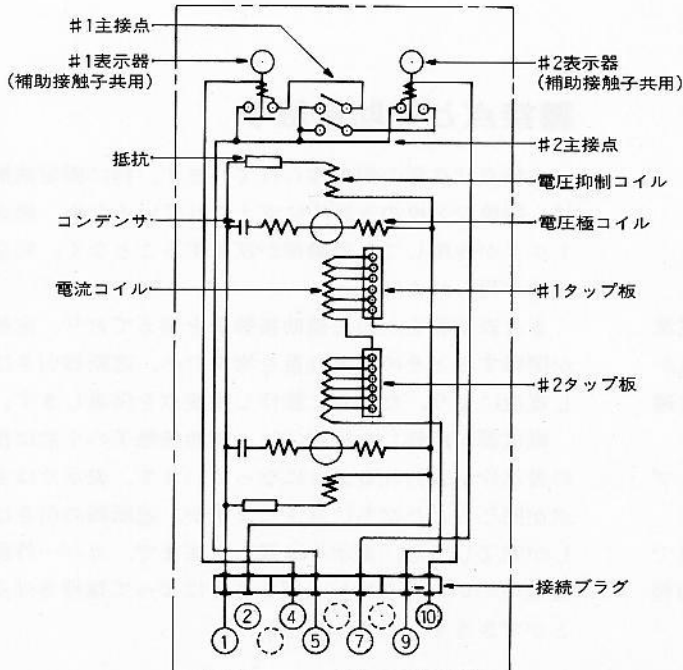


図6 内部接続図(正面図)

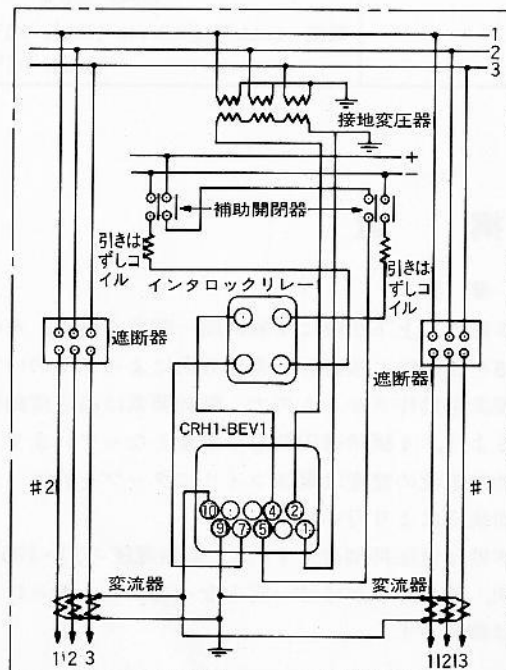


図7 外部接続図(裏面図)

(注) 本カタログに記載の仕様(定格・寸法・外観など)が変更されている場合がありますので、ご注文の際は改めてご確認をお願いします。